

令和4年度 第2回綾川町都市計画審議会要旨

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議事録署名委員の指名

4. 審議事項

(1)「綾川町都市計画マスタープラン」の改訂について

事務局より説明後、質疑応答に入る。

○ 委 員

町内の道路環境は非常に良くなってきており、子どもがよく通るところに歩道が整備されていて大変ありがたいと思っていますが、子どもたちの通学路に関して、道路と用水とが結節するところでは、鋭角に道路の方に入っているなど安全施設が欠如していると思います。そういった箇所は早く手当しておく方が良いと思います。

● 事務局

地域別構想の中でも住民意見として、通学路の安全確保というものが住民意見の満足度が低いものとして挙がっている地域もありました。今後、建設課の方においても、業者によるパトロールも含めて危険な箇所というのは対策を進めて参りたいと思います。

また、用水路の転落防止対策としては、県の方で協議会を設置しており、本町もそちらに参画をして、町内における用水路への転落事故があった場合には、現場の確認と必要な対策を講じていく方向で進んでおります。

なお、通学路に関しましては、通学路の安全点検プログラムに基づきまして、通学路の総点検を数年に1回、各校区で実施しております。こういった中で、県の皆様やPTAと警察、道路管理者、教育委員会も含めて、一堂に会して現場の点検を行って、可能な対策を行うという取り組みもしております。町道・農道の数、国道や県道も含めてですが、非常に多くの道路網が張り巡らされていますので、すべての物を一気に改修できるかといえば、なかなか難しいところもございますが、委員にご指摘いただいたとおり、「ここは危ない」というふうに、既にわかっているようなところは積極的に安全対策を講じて参りたいと思います。

○ 委 員

3点お伺いしたと思います。

まず、綾上地域のまちづくり構想ですが、令和4年4月に綾川中学校統合ということで、旧綾上中学校については、給食調理場としての利用はあるのですが、現在閉校しています。そちらについても今後の活用方法を考えていくことで、地域の拠点のひとつになるのではないかなと思っているわけですが、何かしら、ひとつのにぎわいの場、集う場の拠点として必要なのではないかなと思ったのが1点です。

2つ目が、滝宮地域に関するところなのですが、滝宮地区に関しては、人口も増えていて、また、世帯数も増えているということで、本当に昨今多くの団地とか、造成地が増えているなというのを

実感しているところです。このなかで、特に、滝宮や旧綾南、特に滝宮・萱原であるかもしれませんが、人口や発展が集中しているというお声をたくさん聞くので、これ自体を分散することはなかなか難しいと思うのですが、そういったことも今後どうしていくのか考えていかなければいけないと思っています。また、これをマイナスというかどうかはわかりませんが、マスタープランの中でも記載がありますが、自主防災組織の加入の推進、これはどこの地区についてもありますが、特に新しい団地ができた地域については、記載はないですが、自治会加入率が低いのではなからうかと思えます。自治会加入率が低いということは、地域での助け合い、「共助」という考え方が少なくなっているのではないかなと思われま。自治会加入率を上げていくことや地域で助け合いをしてくということが、新しい団地で漏れないようなことをぜひ今後していかなければいけないのではないかなと思っています。そちらについて、どのように考えているか教えて頂ければと思います。

3点目は、全体を通して、非常に良い、素晴らしい計画を作っていただいております、PDCAの観点から、このプランに基づいて、いろいろな政策や取組を実施して行かれると思うのですが、このひとつのゴール地点を2037年、これから14年先をゴールとしてやっていくということなのですが、PDCAの観点から言いますと、14年間ずっとこのままというわけではないとももちろん思います。どのタイミングで、チェックということで目標の再設定を図るのか、1点目で申し上げた、旧綾上中学校が別の施設になった時にそれら活用などを盛り込みながらやっていくのか、今後どのような形でこれを定期的にチェックしていく予定をしているのか、スケジュール感を教えて頂けたらと思います。以上3点をよろしくお願いたします。

● 事務局

まず、1点目の綾上中学校の跡地利用ということにつきましては、現在総務課の方の計画の中でも跡地利用の検討を進めております。今の時点で何に利用していくのかというのが、具体的なものがまだ決まっておきませんので、そちらが決まり次第、都市計画マスタープランの方にも反映していけるのではないかなと思っています。

続いて、2点目の滝宮地域におきまして人口が集中しているが、自治会の加入率等がどうかという問題ですが、町の方針としまして、滝宮地域においては用途地域を設定して人口の集中と都市機能の集積というのを図っています。ただ、造成等によって新しい団地などができておりますが、自治会・自主防災組織の加入率が、少なくなっているというのはご指摘のとおりだと思います。こちらにつきましても、総務課の方で自治会や自主防災組織の加入率向上に向けて、組織づくりを推進しておりますので、今後も継続的に取り組んで参ります。

3点目の目標年次についてですが、今回2037年までの14年間で設定はしておりますが、目標年次の途中では、上位計画の改訂や社会環境の変化によって、方針を大きく変更しなければならないことが出てくる可能性もあります。そうしたときには、中間見直しを行いまして、社会環境や上位計画の方針に沿ったものに随時修正をしていくという形になります。

(2) その他

事務局より議事録の調整及び次回開催を11月中旬に予定している旨の説明があり、委員全員が了承した。

5. 閉会